

立病院等の再編計画」「国保税を協会けんぽ並みに引き下げること」を求める」「待たれる災害復旧」「海底送水管布設の展望」「指名競争入札」「屋代川清掃等、地域活動における自治会等の組織との連携」「子育てにおける産後ケアの充実」について、多くの議論が交わされました。最終日の22日には、各常任委

員長から付託案件の審査報告があり、新年度予算、条例の一部改正、総合事務組合の関係及び指定管理者の指定について討論・採決。また、繰越に関する追加補正予算（3件）についても審議が行われ、本定例会に上程されたすべての議案は原案のとおり可決、人事案件も適任・同意のうえ閉会となりました。

平成31年度主要事業（新規）

「幸せに暮らせる町づくり」の

実現に向けて

【安心して子供を生み育てられる町】

◆プレミアム付商品券事業

2億6,988万円

10月からの消費税引き上げによる負担を緩和するとともに地域における消費を喚起するため、低所得者や子育て世帯を対象にプレミアム付商品券を販売します。



◆産後ケア事業 34.1万円

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するた

め、産婦及び乳児に対して心身のケア及び育児サポートを行います。

◆産婦健診事業 38.8万円

産後の初期段階における母子に対する支援を強化するため、産婦健診を行います。



【働く意欲の湧き出る町】

◆周防大島復興支援事業（農林漁業） 40.2万円

昨年の大島大橋損傷事故により経営被害を受けた農林漁業者の方に対して、一時的な影響に緊急的に対応するため必要な長期借入資金の利子補給を行います。

【自然と環境にやさしい町】

◆被災家屋支援事業

300.4万円

平成30年7月豪雨により半壊以上の被害を受けた住家の公費解体を実施します。

◆公共下水道施設機能保全事業 4,500万円

公共下水道施設の耐震化・長寿命化計画等に基づき、安下庄浄化センター及び東和片添浄化センターの施設更新に係る詳細設計を行い、機能強化を図ります。



▲東和片添浄化センター

【晩年を豊かで安心して過ごせる町】

◆プレミアム付商品券事業（再掲）

2億6,988万円

10月からの消費税引き上げによる負担を緩和するとともに